

## 議題 2

### 青少年交流事業の開催結果について（報告）

- |                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 1 「青少年国際平和未来会議2020ヒロシマ（第16回）」開催結果  | 8  |
| 2 「2020広島市・大邱広域市青少年交流事業（第19回）」開催結果 | 12 |
| 3 「令和2年度広島・長崎市児童生徒平和のつどい」開催結果      | 16 |

## 「青少年国際平和未来会議 2020 ヒロシマ（第16回）」開催結果

### 1 目的

広島市の姉妹・友好都市等世界の国々の青少年と本市の青少年が互いに世界平和について考え、意見を交換し合うことにより、友情と相互理解を深める。また、広く世界の国々の青少年に核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願う「ヒロシマの心」を伝え、次代を担う青少年の世界平和への意識を高めることにより、グローバル人材の育成を図る。

### 2 主催

青少年国際平和未来会議 2020 ヒロシマ実行委員会

〔構成：広島市、広島市教育委員会、（一社）広島国際青少年協会（公財）広島平和文化センターほか〕

### 3 期間

令和2年6月～令和3年3月

### 4 参加者

参加都市9か国11都市（70名）

姉妹・友好都市（ボルゴグラード市、ハノーバー市、重慶市、大邱広域市）

その他の都市（バンコク都、成都市、グリニー市、モンティンルパ市、  
サンクトペテルブルグ市、テヘラン市）

ファシリテーター 佐渡紀子委員（広島修道大学国際コミュニティ学部教授）

### 5 年間の取組

今年度の青少年国際平和未来会議（以下、「未来会議」という。）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していたボルゴグラード市での会議開催を見送り、各都市の昨年度以前の参加者などによるオンライン会議を、年間を通し継続的に実施した（各メンバーは自宅から参加）。

オンライン会議においては、昨年度の未来会議で採択した「青少年国際平和未来会議2019ヒロシマ 広島アピール2019」を踏まえた議論を中心に進めた。

また、広島市メンバーは、未来会議をより有意義なものとするため、オンラインでのランチ会議を開催し、オンライン会議の進め方などについての協議等を行った。

#### <青少年国際平和未来会議2019ヒロシマ 広島アピール2019> （抜粋）

.....  
... 私たちが世界平和を希求する以上は、私たちの目指すゴールへの道をなだらかなものとするべく、急進主義やヘイトに満ちたイデオロギーを排除するために私たちは自身や他者を教育しなければなりません。したがって、私たちは、前に向かって自発的に次のことに取り組みます。平和に関するプロジェクトに参加し、ソーシャルメディアを用いて平和のためのネットワークを組織し、そして平和に関するプログラムに参加します。これらはすべて、私たちの持つ多様な文化への相互理解をもたらし、世界平和を達成する道をとともに作り上げるためのものです。.....

.....  
私たち参加者は、それぞれの母国に戻ったのちもこれらの目標を忘れることはありません。私たちの目的につながるプログラムに参加することで行動を起こす準備を整え、そして、それにつながる目標に向かうように他の人々を励まし、動機づけし、鼓舞し、そして開かれた心を保ち続けるために、私たちが出会った人々と連絡を取り合い続けることが必要であることは明らかです。そのようにすることで、私たち自身の経験を広げ、私たちと同世代の他の人々を励まし、私たちが平和な世界を創造できると確信します。

日 程	内 容	
6月20日(土)	広島ランチ会議①	○ 今年度の取組について意見交換
7月4日(土)	オンライン会議① 司会：佐渡紀子委員	【協議・意見交換】 ○ 今年度の取組の方向性 ・昨年度の「広島アピール」を踏まえた継続的な意見交換や学びの実施(オンライン) ・「多様性」をキーワードとする平和の啓発動画制作 ○ 平和の啓発動画の具体的な内容 ・「多様性」をキーワードとし、「折り鶴」をモチーフに制作
7月4日(土) ～7月31日(金)	○ 啓発動画「多様性に寛容になろう、よりよい世界のために」の制作 (※参加メンバー各自が撮影した動画を、事務局が取りまとめて編集)	
8月8日(土)	オンライン会議② 司会：広島市メンバー	【協議・意見交換】 ○ 啓発動画の完成発表及び啓発動画を活用した今後の展開等 【平和についての学習】 ・「平和の誓い」朗読、広島市平和記念式典、ハノーバー市慰霊セレモニーの動画視聴
8月8日(土)～	○ 啓発動画のYouTube公開、SNSでの拡散等	
9月13日(日)	広島ランチ会議②	○ 佐々木祐滋さん(「原爆の子の像」のモデル佐々木禎子さんの甥・ミュージシャン)とのオンライン交流 ○ 次回以降のオンライン会議に向けた協議
9月13日(日) ～9月26日(土)	広島ランチメンバー各自の活動	○ 次回オンライン会議で佐々木祐滋さんとの交流や、佐々木禎子さんの物語について発表するため各自で資料作成等の準備。
9月27日(日)	オンライン会議③ 司会：広島市メンバー	【意見交換】 ○ 啓発動画を活用した今後の展開等 【活動報告】 ○ 広島ランチ会議②の報告 ・動画をきっかけとする佐々木祐滋さんとの出会い ・佐々木禎子さんと折り鶴について
11月14日(土)	国際フェスタ2020 主催：広島平和文化センター	○ 今年度の活動状況報告 (発表者：広島市2名、ハノーバー市1名、大邱広域市1名)
11月22日(日)	オンライン会議④ 司会：ハノーバー市メンバー 成都市メンバー	【平和学習】 ○ 講演「SADAKOが遺したもの」(講師：佐々木祐滋さん) ※ 日本語の講演内容をハノーバー市メンバーが随時英訳 【意見交換】 ○ コロナ禍による生活や環境の変化 ○ コロナ禍でのヒロシマアピールを踏まえたチャレンジ
1月31日(日)	オンライン会議⑤ 司会：広島市メンバー	【意見交換】 ○ 2021年度の活動に向けての各都市からの提案
3月13日(土) (予定)	青少年による平和活動報告会 主催：広島平和文化センター	○ 平和活動を行っている青少年の団体との意見交換 (広島市メンバー4名が参加予定)

## 6 2021年度の活動に向けての各都市からの提案

今後の活動内容を振り返りつつ、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、来年度もオンラインでの会議開催となることを前提に、次のような提案がなされた。

### 〔内容面〕

#### ① テーマについて

- ・視野を広げ、平和な世界の実現に大きく関係していると思われる環境問題や貧困問題への取組。
- ・お互いの文化や習慣を知り、お互いをより理解し合うような活動。

#### ② 全員で取り組みたいこと

- ・ヒロシマの実相を学ぶオンライン講話。
- ・今年度と違った視点からの啓発動画の作成。

#### ③ 個人レベルで取り組みたいこと

- ・地元や学校で写真や動画、折り鶴などを活用し、未来会議の活動を紹介。
- ・他のフォーラムや会議などへの参加（私たちが未来会議で出した内容の共有）や、動画制作などのコラボレーション。

### 〔運営面〕

- ・会議のコーディネートをできるだけ自分たちで行い、頻繁にオンライン会議を開く。
- ・オンライン会議で参加者をグルーピングして、分科会のようにスモールグループでのディスカッションをより多く取り入れることで、参加者の発言の機会を増やす。
- ・オンライン会議の回数を増やす。また、未来会議の活動に興味を持つ人を増やすため、それらをオープンな会議にし、オンタイムで見てもらえるようにする。

これらの提案に基づき、来年度の第1回目のオンライン会議において、具体的な活動内容を決定する。

## 7 成果

- ・ コロナ禍で様々な国際交流事業中止が相次ぐ中で、オンライン上で約1か月に1回の活動が行えたこと、そして、各々の会議でじっくりと平和について学んだり、世界各地のメンバーと意見交換ができたことはよかった。また、オンライン会議を継続的に実施することでモチベーションの持続につながった。
- ・ オンライン会議の度に次回の内容（意見交換のテーマ等）を予め伝えておいたこと、また次回会議まで1か月程度の期間を設定したことにより、メンバーは自分の意見の整理や、資料の準備等をして会議に臨むことができた。そのため、活発な意見交換ができ、議論も深まった。
- ・ 啓発動画を制作し、ネット上で公開し、発信したところ、一定の反響があった（YouTube再生回数1500回超）。また、このことがきっかけとなり、佐々木祐滋さんとの交流も始まった。
- ・ 佐々木祐滋さんに被爆の実相や佐々木禎子さんの物語を講話していただくことで、「ヒロシマの心」をより深く学び、世界各都市のメンバーに発信することができた。また、佐々木さんの平和への取組にふれることで、各メンバーも平和に向けて自ら行動することの大切さを実感し、その後の活動意欲へとつながった。
- ・ 広島市メンバーは、広島ブランチ会議での協議等の内容を、自ら整理したり、さらに掘り下げたりして、オンライン会議で積極的に報告・提案を行っていた。広島ブランチ会議がメンバーの意識やモチベーションの向上に大きく寄与したと考える。
- ・ また、広島市メンバーは、広島ブランチ会議においてオンライン会議の企画・運営についても意見が出せるようになってきた。当初事務局のみで行う予定であったオンライン会議事前打合せにも参加し、オンライン会議の進行役などにも主体的に取り組んだ。この経験やノウハウが来年度以降の本事業の円滑な実施や、充実・発展につながると期待できる。

## 8 課題と対応

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響によりボルゴグラード市での来年度開催も困難となった。一堂に会してのオフライン交流ならではの感動体験やコミュニケーションをどう補っていくか姉妹・友好都市等参加各都市と更なる連携を図り、検討する必要がある。
- ・ 活動の場が制約される中、今年度の事業の成果を広く広報することが重要である。ついては、広島市ホームページ、フェイスブック、ツイッターを活用して周知するとともに、学校での国際交流活動や平和教育に活用できるようなリーフレット、DVDを作成する。
- ・ 事業期間が長期に渡ったことでの効果もある一方で、授業等の都合で継続的に会議に参加できなくなったメンバーもいる。今後、啓発動画制作のような単発的な取組と、うまく組み合わせる必要がある。また、会議出席へのより丁寧な働きかけなどにも配慮する。
- ・ 語学力に自信がないメンバーも取り組みやすいプログラムを入れるなど工夫し、より多くの参加者が主体的に活動できるように検討する。

## 9 参加者の感想（概要）

- ・ 2020年は世界的に波乱の年でした。未来会議の醍醐味である「実際に会って話をする。知らない他国の様子に触れる」などができなくなると不安でした。しかし、このコロナ禍という状況の中でZoomでの会議を行い、例年よりたくさんの参加者と長いスパンで話を進めていくことができました。もちろん実際に会って会議を進めることが理想でしたが、オンラインの良さを生かした色々な経験をすることができ、この状況にうまく適応することができたのではないかと思います。
- ・ 実際に顔を合わせて活動ができればとても良いですが、オンラインワークは人数をあまり制限する必要がなく、より多くの青少年が参加でき、広い考えを共有することができる良い機会となります。
- ・ 2020年はパンデミックによりオフライン（開催市）での交流や討論などすることができず、とても残念でしたが、こういったオンラインでの活動は次のオフラインでの直接交流に向けて続けていくべきであると思います。
- ・ 未来会議に参加したことは、私にとってとても大きな影響をあたえてくれました。例えば未来会議で得た仲間と団結できたり、親友になれたりしました。そうした仲間とまたオンラインで再会し、活動ができてよかったです。

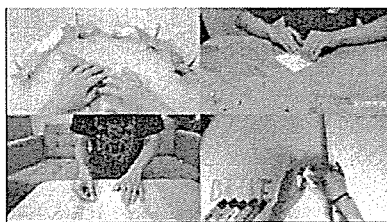
### 《活動の様子》



オンライン会議の様子



メンバーによる司会進行の様子



折り鶴制作



国際フェスタ 2020

「2020 広島市・大邱広域市青少年交流事業（第19回）」開催結果

1 目的

広島市の青少年が姉妹都市である韓国大邱広域市の青少年との交流を行うことにより、本市と大邱広域市の青少年の相互の友情を深めるとともに、世界平和への意識を高める。

2 主催

広島市・大邱広域市青少年交流事業実行委員会

(構成：広島県日韓親善協会、広島市教育委員会、広島ユネスコ協会、NPO 法人友愛アカデミー)

3 年間の取組

今年度は、本市に大邱広域市の青少年を受け入れ、交流活動を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン交流会の開催に変更し、本市参加者は昨年度参加者の中から希望者を募ることとした(11名参加)。また、参加者はオンライン交流会に向けて語学研修を行うとともに、広島や日本文化等を韓国語で紹介する動画を制作した。

日 時	内 容		場 所
8月2日(日) 15:30～17:00	第1回研修会	オリエンテーション	広島市青少年センター
8月23日(日) 11:30～16:30	第2回研修会	動画制作(広島の紹介) お好み焼づくり 二葉の里歴史の散歩道	OKOSTA(オコスタ) 二葉の里 ほか
9月6日(日) 10:00～15:00	第3回研修会	語学研修 韓国語講座	広島市青少年センター
9月27日(日) 9:00～15:00	第4回研修会	動画制作(日本文化の紹介) 宮島案内 もみじ饅頭づくり、杵子づくり	宮島周辺
10月4日(日) 10:00～15:00	第5回研修会	動画制作(平和学習) 平和記念公園案内	平和記念公園周辺
10月18日(日) 10:00～15:00	第6回研修会	オンライン交流会準備 発表資料等作成	まちづくり市民交流プラザ
10月25日(日) 14:00～17:00	オンライン交流会	大邱広域市青少年との交流	オンライン開催
11月14日(土) 12:30～13:00	国際フェスタ2020 主催：広島平和文化センター	活動報告	オンライン開催
12月6日(日) 10:00～15:00	第7回研修会	活動のまとめ	広島市青少年センター
3月7日(日) 10:00～15:00	第8回研修会 (予定)		広島市青少年センター
3月13日(土) 15:00～17:00	青少年による 平和活動報告会 (予定) 主催：広島平和文化センター	平和活動を行っている 青少年の団体との意見交換	広島平和記念資料館

#### 4 オンライン交流会について

(1) 日 時

令和2年10月25日(日) 14:00~17:00

(2) 会 場

広島市：広島平和記念資料館 会議室2 (所在地：広島市中区)

大邱広域市：夢見るシアター (DREAMING THEATER) (所在地：大邱広域市南区)

(3) 参加者数

広島市：14名 [青少年7名、指導者等(通訳含む)7名]

大邱広域市：11名 [青少年5名、指導者等(通訳含む)6名]

(4) プログラム

時 間	所要時間	内 容
14:00~14:40	40分	開会行事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開会のことば</li> <li>・ 大邱広域市長 挨拶、広島市長 挨拶 (映像)</li> <li>・ 大邱広域市の紹介 (プロモーション動画)</li> <li>・ 広島の紹介 (広島市青少年制作動画)</li> </ul>
14:40~15:00	20分	青少年文化交流の場 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ K-POPダンス公演</li> <li>・ K-POPダンス体験</li> </ul>
15:00~15:50	50分	青少年国際トークショー <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「postコロナ! 変化した私たちの日常」</li> </ul>
15:50~16:10	20分	広島市青少年による活動報告「遠くにいても心は近くに」 ① 令和元年度交流後の事後活動の報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属学校での報告会</li> <li>・ 街頭アンケート (日韓関係に関する意識調査)</li> <li>・ 経済大学興動館プロジェクト (大学生との意見交換)</li> <li>・ 国際フェスタ (活動報告、韓国屋台ボランティア)</li> </ul> ② 令和2年度の活動内容の報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修会の様子</li> </ul>
16:10~16:30	20分	青少年文化交流の場 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サムルノリ公演</li> </ul>
16:30~16:40	10分	<閉会行事 準備>
16:40~17:00	20分	閉会行事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 閉会の言葉</li> <li>・ 記念撮影</li> </ul>

## 5 成果

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により全国的に国際交流事業中止が相次ぐ中で、オンライン上ではあるが交流ができたことはよかった。
- ・ オンライン交流会で大邱広域市の青少年に向けて発表した動画の制作は、参加者にとって、交流活動に制限がある中での大きな目標になった。さらに、ボランティアの韓国語講師の多大な協力のもと、韓国語での動画制作ができたことは、大きな達成感につながった。  
また、動画制作を通じて、参加者は本市の歴史や文化、産業等についても改めて学習することができた。
- ・ オンライン交流会は、両都市がそれぞれに時間をかけて研修や準備を行ったことで、有意義な交流の場となった。
- ・ オンライン交流会の青少年国際トークショーは、「post コロナ！変化した私たちの日常」という両市ともに身近で切実なテーマを取り上げたことにより、学校生活や部活動における具体的な体験をもとにした意見の発表・交流が活発に行われた。また、その中でお互いの国の文化や生活習慣についても理解を深めることができた。
- ・ 両市ともに参加者は全員、昨年度、大邱広域市での交流を経験しており、そのベースがあるため、オンライン交流でも相互の友情を深めることができた。また、平和のためには国と国との間では相互理解が不可欠であること、様々な物事を世界的な視野で捉える必要があることなどをより深く考えることができた。なお、今年度の参加者のうち2名が韓国の大学に進学することを決めている。

## 6 課題と対応

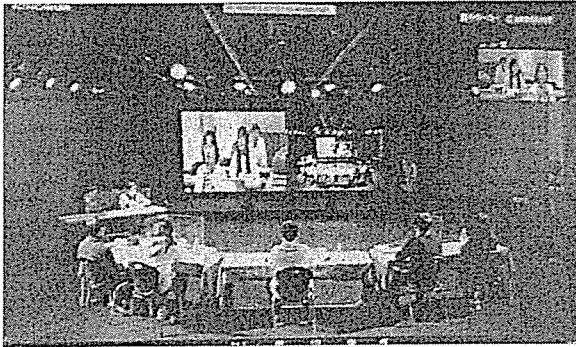
- ・ 来年度は、大邱広域市での開催を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することも見込まれ、引き続き出入国が制限される可能性もある。  
については、オンラインによる交流も視野に入れた事業計画を立案する。
- ・ 日韓の友好関係強化や世界平和への意欲を持った本市参加者が、事業終了後も交流経験を生かし、自主的かつ継続的に事後活動に取り組めるよう支援する必要がある。  
については、本事業参加経験者をメンバーとするグループ（大邱 since2019（仮称））を結成し、本事業のサポートスタッフやゲストティーチャーなど、活動の場を提供するとともに、他の国際交流イベント等の情報提供を行う。

## 7 参加者の感想（概要）

- ・ 昨年度(2019年度)、自分たちは大邱広域市を訪問し、貴重な体験をすることができた。今年は、自分たちが大邱広域市の青少年を迎え、広島で楽しい思い出を作ってほしいと思っていたので、広島での受入ができなかったことは残念だったが、コロナ禍の制限がある中でもオンラインという新しい形で交流できたことはうれしかった。(高校2年生・男子)
- ・ 大邱広域市のみんなが広島に来ることができなかったのは残念だが、交流を続けていけば将来の日韓関係に良い影響を残せると思う。(高校3年生・男子)
- ・ 来年度(2021年度)、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いていなければ、オンラインによる交流を第2回、第3回と継続して開催してくれたらうれしい。(高校1年生・女子)
- ・ 大学受験を控え、秋以降の活動に参加できなかったが、無事に大学進学が決まったので、これからどんどん手伝いをしたい。ボランティア等があれば参加する。(高校3年生・女子)



《活動の様子》



オンライン交流会（大邸広域市の会場の様子）



オンライン交流会（広島市の会場の様子）



オンライン交流会（トークショーの様子）



オンライン交流会（サムルノリ公演の様子）



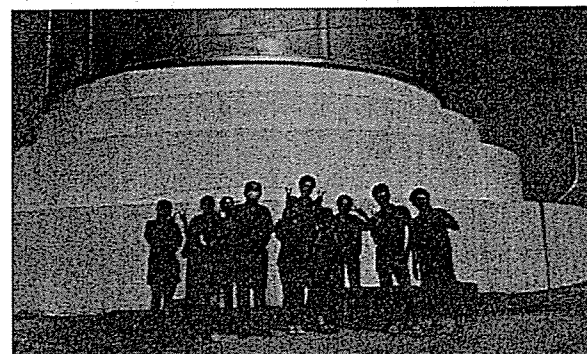
オンライン交流会（記念撮影）



オンライン交流会（広島団活動紹介 PP 資料）



オンライン交流会（広島団作成動画）



研修会の様子（動画制作：二葉の里案内）

## 「令和2年度広島・長崎市児童生徒平和のつどい」開催結果

### 1 目的

広島・長崎両市の児童生徒が交互に訪問し合い、平和学習を通じて平和意識の高揚を図るとともに、世界恒久平和の実現に貢献する意欲と態度を育む。また、集団生活や体験学習を通じて、友情と親睦を深めるとともに、自主性や社会性を育てる。さらに、青少年リーダーとしての指導力や実践力を養う。

### 2 主催

広島・長崎市児童生徒平和のつどい実行委員会

[広島市子ども会連合会（担当：安佐南区子ども会連合会）、広島市教育委員会]

### 3 今年度の取組

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月以降、子ども会活動自体の縮小または中止を余儀なくされた。こうした中、長崎市への訪問も中止せざるを得なかった。しかし、両市の「友情の絆」を絶やさないう、両市の児童生徒が制作した千羽鶴等を交換することにした。
- ・ 長崎市から本市に送られた千羽鶴については、8月8日（土）に代表者による原爆死没者慰霊碑参拝後、原爆の子の像へ献納した。
- ・ また、本市から長崎市に送った千羽鶴と平和のメッセージについては、8月9日（日）に長崎市子ども会育成連合会により、長崎市の平和公園に献納された。

### 4 成果

新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問による平和のつどいは中止としたが、千羽鶴の献納等の交流を行うことにより、来年度の交流に向けた意欲の醸成を図ることができた。

### 5 課題と対応

- ・ 来年度は、広島市での開催を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することも見込まれる。については、オンライン交流などの代替案についても、長崎市と連携しながら検討する必要がある。
- ・ 例年、交流後に感想文集を作成しているが、今年度は見送らざるを得なかった。来年度は、交流の実施状況に応じて、両市の児童生徒が平和について学んだことを何らかの形で成果物として残したり、発表したりできるよう、広島市子ども会連合会や関係機関とも協議し検討する。

《活動の様子》



長崎市から届いた千羽鶴



原爆死没者慰霊碑参拝



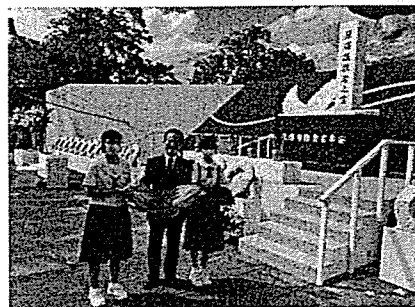
原爆の子の像への千羽鶴献納



広島市から送った千羽鶴とメッセージ



長崎市での千羽鶴献納①



長崎市での千羽鶴献納②